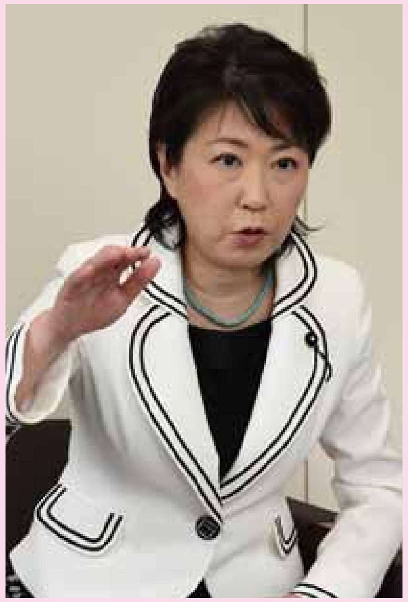
「あついこころ」を道政に!

おおこしあつこは、経済や暮らしに深刻な影響を及ぼしている新型コロナウイルスへの対応をはじめ、さまざまな道政課題を前に進め、令和にふさわしい新時代を全力で切り拓きます。

道の新型コロナウイルス対策 8847億円を決定!
経済副委員長として企業支援に全力


▲経済副委員長として議論をリード

おおこしあつこは、経済委員会の副委員長としての責任ある立場から、新型コロナウイルスの影響で厳しい経営状況に追い込まれている中小・小規模事業者を支援するための支援メニューを補正予算に盛り込み、全力で進めました。

▲政策懇談会で経済政策について議論

＜主な支援内容＞

- 3年間無利子・保証料減免の融資枠拡大(1兆円→1.5兆円)
- 専門家による中小・小規模事業者への経営指導・助言の強化
- 離職を余儀なくされた非正規労働者等の再就職支援
- 離職者の転職支援(離職者、受入企業への各30万円支給)など

第4回定例会で成立した道の緊急対策【第6弾】

▲コロナで落ち込んだ食産業の勉強会で司会を務める

今回の補正予算額:813億円

1.感染拡大の防止と医療提供体制等の充実強化 **766億円**
2.経済活動の継続と段階的拡大 **21億円**
3.社会生活・文化活動の継続と安心の確保 **26億円**

予算額累計(第1弾～第6弾):8847億円【対策規模累計:1兆8935億円】

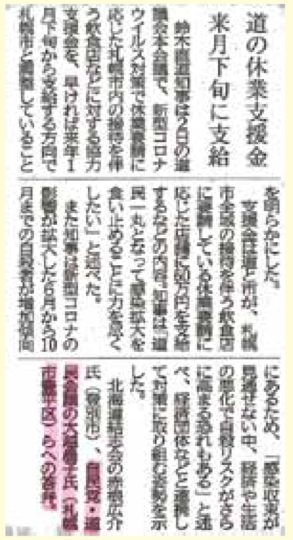
おおこし事務所も実践!「新北海道スタイル」

おおこし事務所が所属する月寒中央商店街では、各会員にマスク、消毒液を配布し、チェックリストを使った実効性ある対策を実践しています。地域の皆さまが安心して利用できるようにするため、新北海道スタイルの普及に全力で取り組みます。

道政報告
新型コロナ自殺者増加への対応を求め 鈴木知事から前向き答弁引き出す

おおこしあつこは12月2日の道議会本会議一般質問で、新型コロナウイルスにより、6月から10月までの自殺者が増加傾向にあることを取り上げ、道の対応を求めました。鈴木知事は経済団体などと連携して対策に乗り出す考えを示しました。現在拝命している経済委員会副委員長としての立場からも、厳しい状況にある企業、個人の皆さまの支援に全力で取り組みます。

▲鈴木知事へ対策の強化を訴える


道の休業支援金
来月下旬に支給

▲道新(12月3日付)に掲載されました

ウポポイ開業式典に出席

民族共生象徴空間「ウポポイ」が7月12日、白老町のポロト湖畔で開業し、菅義偉内閣官房長官(当時)らとともに、開業記念式典に出席しました。ウポポイは北海道の未来へつながる宝であり、PRや魅力向上に全力で取り組んでいきます。

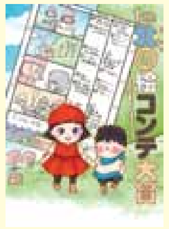
政審委員会で道内4カ所視察

自民党・道民会議の政策審議委員会は7月から8月にかけて、道南地域、石狩市、空知地域、江別市の4カ所を視察しました。ものづくりや食、教育、エネルギーなどに関係する施設や企業を訪れ、地域課題を調査しました。

▲自動車解体工場を視察

「北の絵コンテ大賞」を創設

道は漫画コンテスト「北のまんが大賞」に加え、「北の絵コンテ大賞」(仮称)を創設すると発表しました。絵コンテはイメージをイラストで表現するもので、初年度のテーマは「アイヌ文化」です。おおこしが議会で行った質問内容が反映されたもので、第1回の入賞作品は道のホームページで公開されています。



交通安全活動・植樹に参加

街頭での交通安全キャンペーンと緑化推進に向けた月寒公園での植樹活動に参加しました。